

なばり

2020年(令和2年) 9月25日号

主な内容

- 2~3……新型コロナ対策の取組(事業)
- 4……高齢者等インフルエンザ予防接種費用を一部負担・助成
- 8……赤ちゃん応援特別給付金

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 FAX 0595-64-2560 ✉pr@city.nabari.mie.jp

~新型コロナを乗り越え、その先へ~

新型コロナへの市の対応を振り返る



かんぱろう!つなごう!
WE LOVE nabari

「つながる」ということ。我が事として、誰かのために自分ができることを考え、寄り添い、行動する。怯えるのでもなく、誰かを責めるのでもなく、前を向いて、一歩ずつ。思いやりの心で、もう一度つながって乗り越えていこう。

▲市民の皆さんへ元氣と希望を届けるとともに経済復興を願って打ち上げられた「未来力応援花火」(7月23日)

本年1月に国内で新型コロナウイルス感染症患者の発生が確認されてから9カ月。今号では、これまでの市の対応経過を振り返り、感染拡大防止のための環境整備や市民・事業者を支援する市の取組などをご紹介します。

市民、事業者と一丸となった行動が感染拡大の抑制につながっています

新型コロナウイルスが国内で初めて確認されてから、約9カ月が経過。今なお、感染者数は増加を続け、9月13日現在、国内では7万4千人以上が感染し、1400人以上の人が亡くなっています。

市では、3月11日に新型コロナウイルス感染症対策本部を設置して以降、感染相談窓口の案内や感染予防の啓発、イベントの中止・延期や学校・公共施設の休業・休

館など、感染拡大を防ぐための取組を進めてきました。合わせて、国・県の支援制度の案内や相談、税・保険料などの納付相談など、市民や事業者の暮らしを支援する取組を進めています。

市民や事業者の皆さん、地域や各種団体の皆さんと一丸となった感染予防の取組への協力により、現在のところ感染拡大が抑制されています。しかし、新型コロナウイルスの

収束が見通せない中、冬にかけて、インフルエンザとの同時流行が懸念されています。

引き続き、三つの密(密閉、密集、密接)を避け、うがいや手洗い、手指消毒の実施、マスクの着用、距離を取るなど、うつらない行動、うつさない思いやりを持って、感染予防を行ってください。こうした取組の先に、明るい未来が見えてくることを信じて、みんなが一つながって乗り越えていきましょう。

感染拡大防止と地域経済回復の両輪で市民、事業者への支援に取り組みます

市では、国の交付金などを最大限活用し、感染拡大防止のための環境整備や感染拡大の影響を受けている地域経済の回復と市民生活を支援する取組について、スピード感を持って進めています。

特別定額給付金(10万円の給付)をはじめとする国の支援策の事務を担いつつ、市独自の支援策として、▼感染拡大に伴う外出自粛により売上げが減少するなどの影響を受けている市内飲食店などを支援する「プレミアム付食事券」の発行補助 ▼市内宿泊・観光施設を利用し観光情報を発信いただいた人への宿泊費補助——を実施。

そのほか、事業者への支援として、▼県の休業要請に協力した中小企業などに対する協力金(県と市を合わせて50万円)の支給 ▼学校の臨時休業により影響を受けた給食食材納入事業者への補償 ▼需要が減少している伊賀牛を学校給食用食材として活用——などの取組を実施してきました。

また、感染拡大防止のための環境整備として、▼PCR検査センターの開設 ▼災害時において避難所での感染拡大防止に必要な資機材の整備 ▼小・中学校全児童生徒へのタブレット端末の配備——など、さまざまな視点から

対策を進めています。

さらに、8月31日に開会した市議会の9月定例会(第394回)では、市民生活へのきめ細やかな支援を行うため、▼「全世界型プレミアム付商品券」の発行補助 ▼子育て世帯に対する商品券の配布——を行うほか、▼市立病院における感染症対策のための医療機器の整備 ▼和式の公園トイレを感染リスクがより低い洋式トイレに改修——などの取組を進めるための補正予算案を計上しています。(※9月23日開催の市議会において補正予算案が可決・成立した場合に実施します。)

ご寄贈いただいたマスクや消毒液などを大切に使用させていただきます

市民・事業者・地域・各種団体の皆さんから、多くのマスクや消毒液などをご寄贈いただき、ありがとうございました。寄贈品は、市立病院などの医療機関をはじめ、福祉施設、教育機関などで大切に使用させていただきます。ご寄贈いただいた物品一覧表は市ホームページに掲載しています。

